

病棟紹介



5階西病棟

5階西病棟は泌尿器科・皮膚科・外科を中心とする混合病棟で、ほかにも全科の入院受け入れをしています。泌尿器科では前立腺癌の検査・治療や尿路結石の破砕術を1泊2日の短期入院で行い、尿路系の手術も多く行われています。皮膚科は悪性腫瘍の手術・治療などが中心を占めます。外科は外科病棟の後方病床としての機能を果たしています。混合病棟ということで泌尿器科、皮膚科、外科などのジョイント手術があったりすると、多くの科の出入りがあるため 少々騒々しいのが当病棟の特徴です。また、緩和治療に対しては医師、看護師ともに一丸となって積極的に取り組んでおり、患者の皆様やご家族の方に大変喜ばれています。入退院の激しい病棟ですが、みなで力を合わせて患者の皆様が満足できる医療・看護を目指して日々明るくがんばっています。



【5階西病棟スタッフ】



【明るく元気なスタッフがそろっています！】

5階東病棟

5階東病棟は消化器(肝・胆道系も含む)・呼吸器・内分泌疾患などの手術療法を主とした外科的治療や化学療法などを行う患者さんが入院される外科病棟です。2009年度の手術総数は916件でした。病床数は46床で、前田外科主任診療部長を中心に8名の医師と病棟師長・副師長を含む23名の看護師が地域医療支援病院として緊急患者の受け入れと緊急手術にも対応すべく日夜、チーム医療で頑張っています。また、当病棟からは認定看護師が3名も誕生し、知識と技術の向上の為、更なる自己研鑽に励んでいるところです。



【皆で協力して頑張っています。】



【コミュニケーションを密にとります。】



【5階東病棟スタッフ】

新人さんに聞きました！

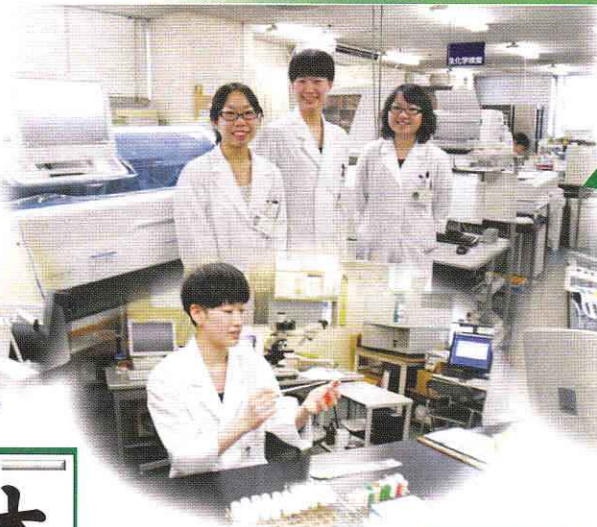
新春書き初め大会



- 新人さんへの質問
- ①氏名、職種
 - ②書き初めの決意
 - ③好きな食べ物



- ①安田 由佳
臨床検査技師
- ②今年も体に気をつけたい。仕事を体で覚えたい。
 - ③ハンバーグ



- ①三原 一恵
臨床検査技師
- ②明るくポジティブな一年になるように。去年より明るい思い出を増やす。
 - ③チョコリート



- ①平木 希
臨床検査技師
- ②楽しく仕事ができれば楽しい一年になると思っています。
 - ③お寿司



- ①米田 聖香
看護師
- ②どのような状況にあっても、人にやさしく接する人でありたい。
 - ③グレープフルーツ



- ①木村 早紀
看護師
- ②人との出会いを大切にしたい。
 - ③とんこつラーメン



- ①小野田 裕美子
看護師
- ②毎日を成長のために大事にしていきたい。
 - ③ミルクセーキ



病院の理念 いかなる時も優しさをモットーとして、市民の健康を守るため、地域と密接な連携のもと良質で安全な医療を提供します。

病院の基本方針 “治す 癒す 連携する”

1. 病気を治すために必要な最新で正しい知識・技術の習得に努めます。
(キーワード：科学的、理論的、EBM、正確、安全性、高度医療)
2. 患者さんとその周囲の人々を癒す気持ちを持ちつづけます。
(キーワード：人間性、哲学、宗教心、暖かさ、奉仕)
3. 地域医療支援病院として、病院内外の連携を密に地域で頼れる存在であり続けます。
(キーワード：協調性、チーム医療、連携、地域医療)

- 患者さんの権利
1. 全ての人にはその人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力のもとで、公平に良質な医療を受ける権利があります。
 2. 医療を受けるに際しては、理解しやすい言葉や方法で、診療内容に対して十分な説明を受け、必要な場合には第三者の意見を聞くことができ、その上で治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。
 3. 自分の診療記録などの開示を求める権利があります。
 4. 基本的人権とプライバシーが守られる権利があります。

- 患者さんの責務
1. 医療提供者に対し、求められる情報をできるだけ正確に提供する責任と義務があります。
 2. 他の患者さんの医療に支障を与えないよう配慮する責任と義務があります。



新しく病院紹介の新聞コーナーを開設しました！
 毎号、当院のさまざまなニュースをお知らせします。
 HOT STUFF：“特に優れた人(物)”、“元気者”



手術室は元気満点♪



【手術室スタッフ】

新 館4階のエレベーターを降りると左手に材料室、右手に手術室の自動ドアがあります。その奥にある6つの手術室では、月曜から金曜日まで数件から十数件の手術が毎日行われています。今回は知っているようで知らない手術・材料室のお話をしたいと思います。

平成21年度の手術件数は2104件、全身麻酔件数は1119件でした。年々、鏡視下手術は増加し、限りある高額な器械を手術に支障がないよう効率よく使用する為に、スタッフは頭と体力をフルに回転させ手術に対応しています。



ます。現在看護スタッフは師長を含め25名（手術室17名、材料室は副師長1名と嘱託8名）です。麻酔科医は超多忙な橋口副院長をはじめ、富安先生、嘱託でママさん麻酔科医の杉本先生、北島先生です。12月より研修医の江頭先生が加わり賑やかになりました。臨床工学技士の土屋さんもここにデスクを構えています。

手術室には自慢できることが3つあります。ひとつは朝礼での伝統です。予定手術紹介後、リーダーが「何かありませんか？」と言うと「昨日の反省ですが…」と、自主的に自分のミスやミスに繋がるような事例を発表し皆に注意を喚起します。これはいつ頃始まった事なのかだれも知りませんが、今後大切に継続していきたい伝統です。もうひとつは、チームワークです。普

準備万端！

手術部の看護師さんは明るい人ばかり♪



段の手術もさることながら、いざ緊急手術が入るや否やそのチームワークが発揮されます。また、今年異動してきた2名を除くと手術室経験歴3〜16年と充実したスタッフが揃っているのも強みだと思います。

看護部では今年から固定チームナーシングを導入しましたが、手術室では2年前から小集団活動を導入しており、少しずつ成果をあげてきました。今年「洗浄滅菌」「術前・術後訪問検討」「環境整備」「電子カルテ検討」「オペラマスター検討」の小集団活動を行っています。患者さんと接する時間は少ないですが、担当患者さんの手術では、生命体に害となる条件・状況をつくらぬ援助、生命力の消耗を最小にする援助を意識し、自分ができる最高の看護が提供できるよう日々努力しています。

いいこの広場のお花
 ゼラニウム(ピンク)

花言葉：決意



地域医療 連携室便り



雪の季節になりました。

風邪には気をつけて
くださいね。



当院職員撮影

“雪の上のポチ”（鼻に雪が…）

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

私たち地域医療連携室は、患者の皆様と地域の開業の先生方と市民病院の3者の連携を円滑に行う事を目標に頑張っております。

今年度の大きな目標の一つが、地域連携クリティカルパス(以下、連携パスと略させていただきます)の開始です。がん診療連携拠点病院として、24年度末までに5大がん(肺、胃、大腸、肝、乳腺)について、連携パスを整備する事が義務づけられております。長崎県においては、県下統一パスを作成実施する事としております。また医師会においても着々と準備が進んでいると伺っております。

この連携パスは、私たちが通常行ってい

る、かかりつけ医 → 拠点病院 → かかりつけ医の流れを、より範囲を広く想定し、より系統立てたものと理解しております。厚労省は、脳卒中などのパスを念頭においていたようですが、がんは多様な病態を持っており、それらに様々な医療機関がフレキシブルに対応している現状では画一的なパス対応はなかなか難しいようです。

今後、大学病院と医師会を中心として長崎県に適応した形のパスが出来上がってくる事と思います。私たちは、市民病院と連携していただいている医療機関とのつながりはどのようなものが良いのか、考え行動していきたいと思っております。

地域医療連携室顧問 井上啓爾

標榜診療科目が増えました。

平成23年1月4日から、新たに『**糖尿病代謝内科**』と『**内分泌内科**』を診療科目に加えました(30科目)。今後も、糖尿病を中心とした生活習慣病や内分泌疾患にかかる診療体制を強化していきます。



いこいの広場のお花
ゼラニウム
花言葉：愛情
※5階のいこいの広場のお花たちは、ボランティアさんのご協力で綺麗に維持されています。

NEW COMER

東 瞳 産婦人科医師

(日本産婦人科学会専門医)

好きな食べ物：白御飯

趣味 味：洗濯



一生懸命頑張りますので
よろしくお願いします!!



長崎市立市民病院

〒850-8555 長崎市新地町6-39

TEL : 095-822-3251

FAX : 095-826-8798

HP <http://www.nmh.jp/shiby/>



長崎 市民病院

検索

まずはクリック♪

発行・編集
市民病院広報委員会

広報委員長
鈴木 伸